

事例 1

農地開発地における大規模生産団地の育成

～ 国営農地開発事業「益田地区」～

[益田市]



【地区の概要】

目的 山林の開発と水田の区画整理事業により営農規模が拡大され、高効率な農業生産団地が育成されました。

事業年度 昭和50年度～昭和63年度

事業費 22,468,000千円

造成面積 422ha

区画整理 195ha

受益者数 917人

葉たばこ

当地区は生産調整後、県内他産地の多くが作付面積を減少させる中でこれをくい止め、島根県を常にリードする産地となっています。

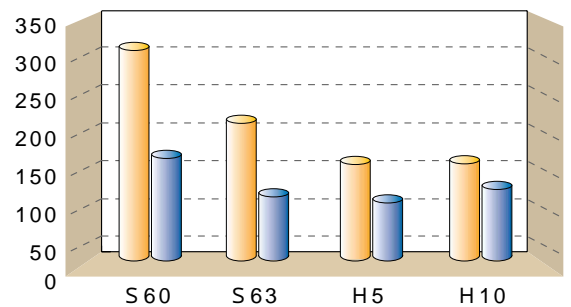
葉たばこの粗生産額

(百万円)

	県全体	益田市	同割合	県順位
昭和60年	2,575	305	11.8%	1位
昭和63年	1,719	218	12.7%	1位
平成5年	1,210	162	13.4%	1位
平成10年	1,021	163	16.0%	1位

益田市の葉たばこ粗生産額

(百万円)



施設園芸

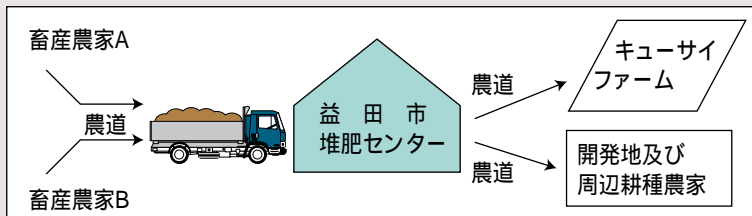
農地造成後、益田市の規模拡大志向農家は開発地に生産拠点を移し、メロン、トマト、バラなどの生産拡大に大きく寄与してきました。今後の生産拡大も大いに期待されています。

(平成10年)

作目	県内粗生産額(百万円)						2010アクションプラン(益田市)
	うち益田市	同対比	県順位	うち開発地	対益田比		
メロン	877	440	50.2%	1位	20	4.5%	927
トマト	852	184	21.6%	1位	17	9.3%	395
バラ	164	67	64.9%	1位	32	47.0%	118

資源循環型農業の拠点の育成

平成12年2月に完成した堆肥センターは畜産農家のふん尿処理対策と耕種農家、特に有機栽培農家の堆肥需要を同時に満たし、資源循環型農業の拠点として機能しています。



新たな特産物の取り組み

平成11年度入植した、農業生産法人「(有)キューサイファーム島根」が青汁の原料、ケールの作付を開始しました。

これにより、50haの自社保有農地と周辺の既耕地を併せ、大規模な野菜産地が形成されつつあり、開発地を中心とした地域農業の飛躍的な拡大が期待されています。キューサイの青汁販売額目標は平成16年度に578百万円を見込んでいます。



また、キューサイはキューサイ直営農場と臨空ファクトリーパークに進出した加工場で働く16名の地元従業員を雇用し、地域経済に貢献しています。

ぶどう

開発地に多くの団地を持つぶどうは農地造成を機に飛躍的に生産額を伸ばし、県内生産量第3位の産地に育っています。

果樹の粗生産額

(百万円)

	県全体	益田市	同割合	県順位
昭和60年	4,992	172	3.4%	3位
昭和63年	4,991	286	5.7%	3位
平成5年	4,958	376	7.6%	3位
平成10年	5,110	496	9.7%	3位

